

横浜港におけるアカカミアリの確認について

令和元年 10 月 4 日（金）に、環境省が全国の 65 港湾で実施しているヒアリ確認調査（秋季）の横浜港調査において、ヒアリと疑わしい個体が発見され、専門家による同定の結果、同日、アカカミアリと確認されました。

目視で確認された個体については殺虫処理を実施した上で、確認地点周辺では、殺虫餌（ベイト剤）等を設置しています。

なお、当該アリが確認された場所は、コンテナターミナルであり、一般の方が立ち入ることができないエリアです。人的被害はありませんでした。

1 経緯

- 10/4 環境省が全国 65 港湾で実施しているヒアリ確認調査（秋季）の調査において、調査事業者が横浜港大黒ふ頭に 10/3 に設置したトラップを回収した際、アカカミアリと疑わしい働きアリ（30 個体）を発見。周辺を目視調査し、植栽帯の地面及び樹木に働きアリ（約 100 個体）を発見し、トラップを再設置。
同日、専門家による同定を実施し、アカカミアリであることを確認。
横浜市職員が周辺に殺虫餌（ベイト剤）を設置。
- 10/7 専門家、調査事業者及び横浜市職員が現地を確認し、防除を実施。
10/4 に設置したトラップから働きアリ（8 個体）を確認。
専門家が植栽帯の土を徐々に掘り起こしながら巣の状況を確認するとともに、確認した個体を殺虫。地面及び地中で、働きアリ約 500 個体及び雄アリ 6 個体を確認。
アカカミアリが確認された場所及びその周辺に殺虫剤（液剤）を散布し、殺虫餌（ベイト剤）及びモニタリング用のトラップを設置。

2 今回確認されたアリについて

横浜港大黒ふ頭において確認されたアリは、アカカミアリの働きアリ約 600 個体、雄アリ 6 個体です。

3 今後の対応

横浜市は引き続き、環境省等と協力して確認地点周辺等を中心にモニタリング用のトラップや殺虫餌（ベイト剤）を設置し、アカカミアリを発見した場合は、速やかに殺虫処分するなどの防除を実施します。

また、港湾関係者に注意喚起を行うとともに、関係機関に情報共有していきます。

4 事業者の皆様へ

(1) 注意点について

- ・アカカミアリを刺激すると刺される場合があります。
- ・アカカミアリと疑われるような個体や巣を見つけた際は、刺激（アリを踏もうとしたり、巣を壊したり等）しないでください。

(2) 刺されたときの対応について

- ・まずは安静（20～30 分程度）にし、容体が急激に変化することがあれば、最寄りの病院を受診してください。
- ・受診の際は、「アリに刺されたこと」「アナフィラキシー（重度のアレルギー反応）の可能性があること」を伝えてください。

（裏面あり）

(図) 今回アカカミアリが発見された場所



(写真) 今回確認されたアカカミアリ

上：働きアリ、下：雄アリ

(横浜市環境科学研究所撮影)



【参考】アカカミアリについて

- ・体長3～5mm。体色は赤褐色で頭部は褐色のアリ。
- ・原産地：アメリカ合衆国南部～中米。
- ・日本での生息状況：硫黄島（小笠原諸島）等に定着。その他国内で確認事例がある。
- ・生態系に係る被害：攻撃的で高い採餌能力を持ち、他の小型節足動物などを捕食し、在来の生物多様性を減少させることで知られている。
- ・人体に係る被害：刺されると、アルカロイド系の毒によって非常に激しい痛みを覚え、水泡状に腫れる。ヒアリに比べると毒は弱いと言われている。

お問合せ先

(アカカミアリ等の駆除に関する事) 環境創造局政策課環境プロモーション担当 Tel 045-671-2478

(アカカミアリ等の簡易判断に関する事) 環境創造局環境科学研究所 Tel 045-453-2550

(港湾の管理に関する事) 港湾局管財第一課 Tel 045-671-7083